

各位

会社名 株式会社レーサム  
 代表者名 代表取締役社長 小町 剛  
 (コード番号：8890 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 常務執行役員管理本部長 片山 靖浩  
 電話 03-5157-8881

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月24日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移

当社の2023年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は「流通株式比率」に関し「中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）」の最終年度となる2025年3月末までに、上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月30日 (移行基準日時点)	7,201人	95,346単位	79.6億円	20.6%
	2023年3月31日	5,250人	60,176単位	80.8億円	20.6%
スタンダード市場 上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
2023年3月31日時点適合状況		○	○	○	×
当初の計画に記載した計画期間		—	—	—	2025年3月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況

##### 【取組の基本方針】

当社は、2021年12月に策定した計画書の基本方針として、まずは株主価値向上を図りエクイティ・ファイナンス（自己株式の処分等を含む）による希薄化を払拭できる状況を目指すことが重要であると考え、2025年3月末までを株主価値の向上に取り組む重点期間として定め、その進捗を慎重に見極めつつ、上場維持基準を充たすために各種取組を進めていく旨を定めております。

##### 【取組内容と実施状況】

##### ①中長期的な企業価値・株主価値の向上に向けて

一昨年度の2022年3月期、昨年度の2023年3月期の連結業績は好調に推移しており、2022年5月に策定した「中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）」についても中期経営計画2年目に当たる2024年3月期（当年度）及び3年目の2025年3月期の定量目標を2023年5月に上方修正し、併せて利益配分

に関する基本方針も見直し、株主への配当を通じた利益還元の水準を高める取組を行っております。これらの活動については適切な情報発信により株式市場のより一層の信頼を得るべく取り組んでまいりました。

## ②自己株式の活用

既存の環境下での着実な成長と株主還元の実施に加えて、自己株式の活用による企業価値向上策についても総合的に検討しておりましたが、自己株式消却による流通株式比率の向上により上場維持基準を充たすことも重要であると考え、当初2025年3月末までに実施予定であった自己株式消却を、2022年3月31日付で保有する自己株式のうち9,000,000株分については同日付けで行い、その後の自己株公開買付により新たに取得した自己株式8,000,000株についても、同年7月29日付で全株の消却を行ってまいりました。結果、2023年3月末における自己株式数は482,711株であります。

## ③健全な財務体質の維持

従前より当社の経営の基本方針に掲げております「健全な財務体質の維持」にも引き続き注力しております。

### 【新たな課題】

Rays Company (Hong Kong) Limited (以下「オアシス社」という。)による当社株式に対する公開買付け(2022年9月21日より2022年11月4日までの実施 以下「本公開買付け」という。)の結果により、新たに当社の親会社となったオアシス社の所有する当社株式18,364,300株と本公開買付け前に当社の主要株主兼筆頭株主であったPower One 株式会社(現 日本投資株式会社)(以下「PO社」という。)の所有する当社株式が3,541,700株となり、本公開買付け後に結果としてオアシス社とPO社の保有する当社株式を合計すると、その保有割合が75%超となりました。これは、本公開買付けにおいて、PO社はその保有株式全株を応募したものの、応募された株券等の総数がオアシス社の買付予定数を超え、応募株主の間でのあん分比例の方式による売却となった結果であります。

これが、今回の基準日における流通株式比率の基準を充たしていない主要因と当社は認識しております。

### 【新たな課題への対応方針】

前述の本公開買付け開始時に当社が2022年9月20日付で開示している「Rays Company (Hong Kong) Limitedによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」にも記載しておりますが、

- ①オアシス社は本公開買付け後も当社の上場を維持することを企図している
- ②オアシス社は上場維持が困難となる事態が生じた場合には、当社と協議をし、必要に応じて、東京証券取引所が定める期間において株式市場における当社の株価を考慮しつつ、オアシス社が所有する当社株式の売却も含め、当社の流通株式比率を増やす対策を講じる予定である

との説明を受けているため、当社は上場維持基準の一つである流通株式比率の維持に関して、一定の配慮がされており、流通株式比率の低下により、上場維持が困難となる事態が生じる可能性は低いものと考えた結果として本公開買付けに対し賛同の意見を表明しました。

今回の基準日における流通株式比率が基準を充たしていない事を受け、オアシス社とは協議を開始しておりますが、当社としては引き続き中長期的な企業価値・株主価値の向上に向けて、各種施策に注力してまいります。

以 上